

様式4の書き方のポイントについて

比較表(様式4)の目的

発注者が活用等を検討する際に、従来技術や類似技術と比較検討するための参考資料とし、「経済性」、「工程・工期」、「品質」、「出来型」、「現場条件」、「設計条件」、「安全性」等を対比した比較表です。各評価項目及び総合評価について自己評価を行いその結果を記入して下さい。

様式1, 2, 3で記述したものと同一とする。

様式2, 3で記述したものと同一とする。

様式4	比較表記入例				
技術名	新技術 ○○○工法	従来技術 ××××工法	類似技術 M建設式◆工法	類似技術 △△マ工法	類似技術 ○○○工法
工法概要	○○を用いた△△をする □□工法である。				
概略図				NETIS上にある類似の技術、及び載っていないが知っている類似の技術について、挙げて下さい。(以降、いくつあっても構いません)	
経済性	48,000円/100㎡ (12.7%向上)	55,000円/100㎡	△△△円/100㎡ (△△%向上)		
評価	◎	-	○		
工程・工期	100㎡/0.5日 (○○%短縮)	100㎡/1日	100㎡/□□日 (□□%短縮)		
評価	◎	-	○		
品質	JIS□□□を使用	JIS□□□を使用	JIS□□□を使用		
評価	△	-	△		
出来形	厚 ±□□mm	厚 ±□□mm	厚 ±□□mm		
評価	○	-	△		
現場条件	□m×□mの施工ヤード があれば施工可能。	□m×□m以上の施工ヤード が必要である。	□m×□mの施工ヤード が必要である。		
評価	△	-	△		
設計条件	設計時に□□の確認が必要。	設計時に□□の確認が必要。	設計時に△△であるが確認が必要。		
評価	△	-	△		
安全性	△△がないこと。	△△がないこと。	△△がないこと。		
評価	△	-	△		
NETIS番号	-	-	☆☆☆☆☆☆		
備考	-	-	-		
総合評価	◎	-	○		

従来技術と新技術と比較

従来技術と類似技術と比較

従来技術を基準とし新技術、類似技術を同一の視点で比較して下さい。
よって、従来技術の評価は全て「-」となります。

※文字の着色について

様式4にある代表的な項目について、シート別に書き方のポイントの説明を載せましたが、そこで着色されている文字等は、説明する上で分かり易く着色しているものです。

様式4を作成する際、例に挙げたような文字の着色は必要ありません。(ただし、概略図の着色の有無については、作成者にお任せします)

様式4は、エクセル・A4横で作成して下さい。

様式4の各項目について

技術名 : ○○○工法
新技術 ○○○工法
工法概要
概略図
経済性 評価
工程・工期 評価
品質 評価
出来形 評価
現場条件 評価
設計条件 評価
安全性 評価
NETIS番号
備考
総合評価

工法概要

アブストラクト程度の内容で記述して下さい。(特に「**売り**」がどこなのか分かるようにお願いします。)

概略図

技術の概要が確認でき、視覚的に特徴がつかみやすい**写真**や**画**、または**フロー**などを入れて下さい。類似技術で資料の無い場合は、空白で構いません。

経済性

様式2, 3で記述した内容に合わせて、定量的に記入して下さい。特にコストタイプ番号が**A**または**D**の技術の場合は、イニシャルコストとトータルコストを2段書きにしていただけると分かり易いと思います。

工程・工期

様式2, 3で記述した内容に合わせて、定量的に記入して下さい。

品質・出来形・現場条件・設計条件・安全性

様式2, 3で記述した内容に合わせて下さい。また技術によって適用となる条件が違う場合は、同条件での適用の可否と、別条件での場合を2段書きにいただけると分かり易いと思います。

NETIS番号

NETIS上にある類似技術の場合、NETISに掲載されたNETIS番号を記入して下さい。

備考

特筆すべきことがある場合などに、記入して下さい。

評価について

新技術、類似技術と従来技術を比較した結果を、著しく向上:◎、向上:○、同等:△、低下:×、で表現して下さい。

※従来技術を基準に比較をするため、**従来技術の評価は全て「-」**を記述してください。

以上の要領で記述して下さい。対象とならない項目は「-」を入れてください。

注)

- ・新技術及び様式2, 3で挙げた従来技術については、最低限記入出来るはずですが、必ず記入して下さい。
 - ・項目の対する記述欄にコメントがないのに、評価だけ入れるような事のないようにお願いします。
 - ・技術の種類によって、項目を付加する必要がある場合は、項目を安全性の欄より下へ増やしてください。(初めから様式にある項目は減らさないで下さい。)
 - ・ファイルの重さは500KB以下になるように、概略図の大きさを調整して下さい。(大まかな概略が分かる程度であれば文字等がつぶれていても構いません)
 - ・同様であれば同じ内容を記述して下さい。
 - ・各技術単体で資料になるように記述して下さい。
- 例: 良い例 1800円/m² 悪い例 従来より20%向上 従来と同等
(従来より20%向上)